6月定例市議会 一般質問から

伊那市議会6月定例会の一般質問は、対面式・一問一答方式により、6月12日、13日、14日の3日間にわたって行われ、18人の議員が質問に立ちました。質問と答弁の主な内容をお知らせします。

市の食育推進を

問 **竹中則子議員** ①市食育推進計画（平成20年～25年）について、本年、中間評価を実施したが成果と改善策は。②食育アドバイザー資格取得の推進を。

答 **市長** ①野菜を食べる人が増え、保育園や学校の給食で地産地消が進んでいる。食生活改善推進協議会と連携し、食生活、食習慣の意識啓発を行う。食育を応援する個人、団体、事業所などに「いーな食育応援隊」として登録していただくよう協力を求めたい。②市の職員に食育アドバイザーと同等の資格として食生活アドバイザー、専門調理師食育推進員の有資格者が3人いる。管理栄養士、給食調理員を中心に、より充実した事業を目指し、資格取得や啓発に努める。

通学路の危険箇所点検

問 **竹中則子議員** ①通学路や学区内の危険箇所点検の状況は。②教職員の駐車場の管理は。③今年の児童の熱中症対策は。

答 **市長** ②行事の際は、グラウンドの開放などにより駐車場を確保するため混乱はない。

教育次長 ①就学前に児童と保護者で、通学路を確認しているほか、1学期の早い時期に実地指導を行っている。また、PTAでも通学路や学区内の危険箇所について情報を共有し、危険箇所のマップを作成している。③扇風機を設置した。また、水分補給を十分行うよう徹底する。

市都市計画区域の道路整備

問 **前田久子議員** ①国道153号バイパスの天竜橋から竜東線間、地元施工業者請負分の経済効果をどう見ているか。②この先、静かな住宅地域で事業を行うが、幅28mで4車線、両側3m以上の歩道が必要か。③環状北線が天竜川から竜東線まで延伸予定とのこと。竜東線の渋滞を今以上増幅させることは問題。一方、上の段一帯は通勤・買物など不便であり、環状北線の上の原までの延長を望む声が多い。先に竜東線と立体交差で上まで開通させることが渋滞回避と上の段の住民への利便性に配慮した方策と考える。

答 **市長** ①公共事業の経済効果は雇用確保など地域経済の大きな下支え。地元建設業者の受注機会を増やしたい。②大規模災害時には地域間を結ぶ幹線道路が必要。国道19号、中央自動車道の代替機能として伊那バイパスはその役割を担う規格が必要。広い歩道は事故を考えた場合、必要な幅員。③道路面の高さの検討など技術的な課題がある。渋滞対策について県と十分な検討を進める。

霊園（合葬式墳墓）について

問 **前田久子議員** 身寄りのない人など、低料金で利用しやすい市営の共同墓地や納骨堂を建設する考えは。

答 **市長** 民営墓地の状況や市民需要の推移など考慮しながら、将来のあり方を見据えたい。

市の保健福祉施策

問 **中山彰博議員** ①保健福祉の面で保健師の果たす役割は重要。近年業務が増え課題も出てきている。充実した保健活動が行える保健師数を確保してほしい。②長谷、高遠地区の保健師数が減り、住民サービスの低下と地域保健福祉の後退につながるのではと心配。体制の再考を。③市長の福祉に関する考えと市の福祉施策は整合性があるか。利用者への周知体制や福祉施策の利用状況は。

答 **市長** ①保健師一人当たりの受け持ち人口は22

ゲリラ豪雨対策

問 **中山彰博議員** ①雨水排水の流域の現状調査は。問題水系は明確になっているか。②流域区分図の作成管理や集落周辺の中小河川には警戒水位・危険水位などの表示で注意を促す必要があるのでは。

豪雨時の様子（H20年6月　藤沢地区）

64人で19市では2番目に少ない。業務を整理し、効率的に行うよう体制を整えたい。②市全体のバランスを見ながら業務内容を精査し、本庁と総合支所で連携し、地域サービスが低下しないよう努める。③高齢者が健康で住み慣れた地域でいきいきと生活できることを基本に取り組む。市報に高齢者福祉の専用ページを設け周知に努める。

答 **市長** ①対策に苦慮している。雨水対策整備計画の策定などに取り組む。②総合的な排水計画の検討を進める。

教育行政のあり方と基本方針

問 **黒河内浩議員** 市長部局と教育委員会との関係が教育行政のあり方を巡って問題となってきている。伊那市教育のあり方と将来像は。

答 **市長** 教育委員会は合議制の執行機関として中立性、安定性の確保に努め、住民の意思を反映するよう努めている。また子ども中心に、学校現場の実践を生かした教育行政を行っている。

市政における情報発信

問 **黒河内浩議員** 市政における情報を多種多様な方法で受け手側である市民に伝えていくことが必要。特に市長自身が市民に直接語りかけて機会をより多く持つべき。

答 **市長** 「市長と語りた伊那」を数多く実施し、直接市民に情報発信している。特に正しい情報を伝えていくことが重要だと思っている。

教育長 公民館報については、デザイン・文章などを工夫し、読んでもらえる紙面を目指す。

「市長と語りた伊那」の様子

「自治基本条例」の制定

問 **黒河内浩議員** 執行機関の役割や、市と市民の関係を明確にする自治基本条例を制定すべき。

答 **市長** 市民の行政参加は進んでいるが、議会基本条例が制定されたことを踏まえ、自治基本条例について研究していきたい。

コンテンツ・ツーリズム（映画・アニメなどの舞台となった地を訪ねる旅）について

問 **二瓶裕史議員** ①映画・漫画・アニメなどで観光客を誘致するコンテンツ・ツーリズムに積極的に取り組んでは。②その地に滞在して物語性を味わい、その世界の住人になることを目的とした滞在型観光について考えは。

答 **市長** ①市の特色ある観光資源を生かして、いろいろなツーリズムに活用していく。②戦略的に取り入れられたら効果も期待できる。

伊那の妖精を活用することについて

問 **二瓶裕史議員** ①市のPR、「身近な市政のシンボル」として、イーナちゃんを積極的に活用しては。②ホームページに出没スケジュールを掲載する考えは。

答 **市長** ①積極的に活用したい。アイデアを出し、伊那の発信に役立てたい。②ホームページへの掲載も検討したい。

さらなる市政の情報発信

問 **二瓶裕史議員** 公式ホームページと合わせて、ツイッターやフェイスブックの活用を。災害時の情報発信手段としても注目されているが。

答 **市長** 「なりすまし」など、導入には幾つかの課題もあるが、その課題を含めて検討していきたい。

県道の改修

問 **橋爪重利議員** 法務局から上牧までの間は、車道に住宅が密接し片側歩道。伊那バイパスが竜東線につながり、環状北線もつながれば一層混雑が見込まれ、早期の改良が必要。

答 **市長** 通学路であり、歩行者の安全対策が必要。法務局・伊那東保育園付近まで事業計画の測量を実施中。県へ事業促進を強く要望する。交通量分析を行い、必要に応じ流入抑制の対策を講じたい。

竜東線（県道伊那辰野停車場線）

観光客の誘致

問 **橋爪重利議員** ①近年は観光の分野が多岐に渡り、地元経済に大きな影響を与えている。観光客をリピーターにするような観光地間における情報の共有化と発信について考えは。②市民が訪れた観光地で、知人に紹介しない観光地は問題あり。観光地の問題点の分析・結果への対応について考えは。③中国は経済力も増し、富裕層は日本の高度医療を受診しつつ観光する人も。中国に明るい人を通じての誘客を行うなど、海外観光客の誘致について考えは。

答 **市長** ①市内のイベント、行事をまとめた観光歳時記を作成。観光関係事業者が活用できるよう情報の共有化と発信に努める。②観光基本計画により、3ヵ年の実施計画を策定し事業を推進している。③県・近隣の自治体と連携し、さらに将来的な構想を明確にして誘客を進めたい。

市土地開発公社の異常な土地取得について

問 **飯島光豊議員**　公社の保有地は約20万㎡だが、5億円余の地価下落で価値は約22億円。しかし借金は26億円もあり赤字。原因はNECなどの企業誘致の失敗と異常な土地取得にある。①畑を宅地並みの坪6万9000余円（総額863万余円）で買収し、代金を支払ったが、所有権移転登記がされない西町の代替地の異常な取得経過は。前所有者は、議長経験者の前市議会議員で、小坂前理事長の市長選挙の後援会長か。②原野を坪3万3000円（総額760万円）の高価格で買収したものの、特別損失として坪102円（総額2万余円）に評価減の会計処理をした西春近の幼稚園村造成事業用地の異常な取得経過は。③出入り口のないような宅地を坪11万円（総額3959万余円）の高価格で買収した美篶の青島住宅用地の異常な取得経過は。

答 **市長**　①契約解除も含め、適切な処理ができるよう検討したい。後援会長かどうかは知らない。②購入当時の経過などが、適切に処理されているかどうか調査したい。③公社のあり方検討委員会の結果を踏まえ、適切に対応したい。

市が買い戻す場合の公社保有地の処分対策について

問 **飯島光豊議員**　福祉施設用地などに使ったら。

答 **市長**　「たかずやの里」が一例となるが、情報を寄せてほしい。

戸籍や住民票の代理人交付請求における本人通知制度の導入を

問 **小平恒夫議員**　戸籍や住民票の代理人交付請求があった場合、本人への通知制度を市も導入すべき。松本市は7月から県下で最初の導入となるが、考えは。

答 **市長**　代理人による申請があった場合に、本人に請求があったことを伝える「本人通知制度」の導入は、不正請求や人権侵害の抑止につながる。市としても情報収集を行うとともに、担当者会議などで検討していきたい。

中央道小黒川パーキングエリアへのスマートインターチェンジ設置計画再開について

問 **小平恒夫議員**　①小黒川パーキングエリアのスマートインターチェンジ設置計画が再開され、設計協議に入るとのこと。全力で取り組んでほしい。②設置効果をどう見込んでいるか。

小黒川パーキングエリア周辺

答 **市長**　①中日本高速道路は、44箇所のスマートインターチェンジ整備を計画中。事業化されるよう求めていく。また、スマートインターチェンジ整備の財源である事業が平成29年度末までのため、その期間の中で完成させたい。②観光や企業誘致、宅地開発などに効果が得られると見込んでいる。消防署の移転候補地にも近く、大規模災害時には周辺施設を含め、上伊那の大きな拠点になる。

公共施設の維持・管理

問 **飯島尚幸議員**　①公共施設の見直しについて、市の人口減少の推計などから、将来の公共施設の総量縮小や再配置が課題。利用促進策も含め見直しが必要では。②行政改革審議会の施設に対する外部評価について、事業の本質を正確に認識・理解するために、原則として施設など現場に赴き評価、判断するよう改めるべき。利用促進策などは現地の諸団体、関係者の意見も聞き、参考にすべき。③各施設のネーミングライツ（命名権）について、今年度、本格的な取り組みへの構想、スケジュールは。

答 **市長**　①老朽化や維持費の観点から、中長期的な見直しは必要。公共施設は各課で台帳管理をしているが、今後は台帳の一元管理のもと、現況確認、統廃合、再配置など、将来的な施設整備に役立てたい。②課題は現場にあり、現場での判断は有効。対応は協議し進める。関係機関の意見聴取も必要に応じて行う。③市広告掲載要綱を整備し、現在、広告対象施設や料金、選定方法などのガイドラインを整備している。8月には市広告審査委員会で対象物件の選定を行い、年内を目途に契約、販売を目指したい。初年度の目標は200万円だが、一施設ではなく、複数施設を選び募集する。公募するのみならず、市側からも積極的な売り込みも必要と考える。

地域自治区の運用について

問 **前澤啓子議員**　地域自治の推進のため地域自治区の委員報酬をやめて、地域自治区で自由に使える予算を組んではどうか。

答 **市長**　報酬は合併時の約束であり、すぐに廃止することはできないが、自治区のあり方については、今後検討しなければならない。

入浴施設の集客について

問 **前澤啓子議員**　みはらしの湯は入浴料値上げ以来入浴客が減っている。500円に戻す考えはないか。高齢者福祉の観点から高齢者割引料金を設定してはどうか。

答 **市長**　下げれば赤字になり福祉に寄与できない。高齢者福祉の観点からはすでに検討を始めている。

ごみの減量化について

問 **前澤啓子議員**　最近、炉の型式を決めた自治体では、その多くがストーカ炉・灰溶融なしを選んでいる。理由は実績が多く事故が少ない、安全性・信頼性が高い、維持補修費が安い、建設費・運営費が安い、助燃材としてプラスチックを必要としない、などである。ガス化炉は、ゴミの減量化に対応できない。生ゴミゼロを掲げながら、ゴミ削減に対応できない機種を選んで本当に良いのか。

答 **市長**　上伊那広域連合の議場ではないのでご理解いただきたい。

環状北線に「道の駅」建設を

問 **柴満喜夫議員**　伊那インターチェンジを降りたお客様の「おもてなし」の場として、中央病院前地籍に「道の駅」を建設する考えは。

答 **市長**　道の駅に観光案内所などあれば有効。伊那インターチェンジ付近には「みはらしファーム」があり、他の施設に影響するため、まずは既存の施設に誘致する。道路を管理する国・県の採択基準の面からも設置は難しい。国道153号伊那バイパス、伊駒アルプスロードなどの整備により、新たな道の駅整備の検討は可能。

住民も使える消火栓について

問 **柴満喜夫議員**　自主防災会では、消火栓の使用経験がなく、いざ火災が発生した際に不安。誰でも使える消火栓の導入を。

消火栓を使った訓練の様子

答 **市長**　各地区の防災訓練で基礎的なことを身につけることが有効。多くの方に使い方を修得してほしい。また、要請があれば消防署、消防団による指導を行っている。**総務部長**　消火栓は一般の方が使用できる状態で配備している。

災害時の情報開示について

問 **柴満喜夫議員**　①平常時でも要支援者などの名簿を渡してほしい。市の条例はどのようになっているか。②行きすぎる個人情報保護。必要な情報は共有が必要。

答 **市長**　①本人の同意を得た場合は可能。緊急時、やむを得ない場合も外部に情報提供できる規定がある。②本人の同意が得られていない情報を含めて提供することは現制度上困難。

今年の桜まつりの対応と反省

問 **平岩國幸議員**　①高遠城址公園の公園開きを桜の開花より半月も早い4月1日に行わなければならない理由は。②公園開きと桜まつりは別のものならば、来年からは別々に実施すれば経費についても効率が良いと考える。③山田河原の駐車場は災害の後、整備されていない。今後の駐車場としての扱いをどうするか。④市役所駐車場からのシャトルバス往復100円。あまりにも安すぎるがどうか。⑤観桜期間中、観光課を高遠町総合支所に置く考えは。

高遠桜まつりの様子

答 **市長**　①桜まつり期間中のみの公園ではなく、高遠城址公園の公園開きと位置付けて今後も4月1日を公園開きとする。②来年に向けて工夫していきたい。③常に豪雨によって流失する危険性がある。今後は現状維持で利用する。④シャトルバスの目的は渋滞緩和。遠くの駐車場から乗っていただく利用者のことを考えて安い料金を設定している。⑤旧高遠町時代のノウハウを生かして、全庁的に対応する。

少子化対策と育児休業

問 **平岩國幸議員**　①合併当時、年間741人出生していたが、昨年は175人減少している。この状況について考えは。②市男性職員は育児休業制度を活用していないが考えは。

答 **市長**　①活力ある市にするため、対応策を講じたい。②子育てにおいて父親の役割は重要。職員の意識向上と休暇取得に関する理解を深める。

財政健全化と臨時職員数

問 **宮島良夫議員**　財政健全化を急ぐあまり、市職員の臨時職員の数が正規職員を上回っている。特に保育園では臨時職員が多い。必要な職員は正規雇用とするべきでは。

答 **市長**　市は人口に対する公立保育園の数が多い。嘱託化や経験年数によって給料を上乗せするよう考慮し

ている。

保健福祉部長　未満児や支援を必要とする子どものために保育士を増やしている。低い水準の保育料の維持に取り組んでおり、臨時職員を必要に応じて配置せざるを得ない状況。

学校給食の自校方式について

問　**宮島良夫議員**　学校給食の自校方式について、総合的に見て自校方式の方が安い。市議会も自校方式の方針を出している。PTAの役員と市長との懇談会でも自校方式での要望が出された。早期に決定すべき。

答　**市長**　学校給食あり方検討委員会を間もなく立ち上げる。

三峰川両岸の斜面緑地保全

問　**若林敏明議員**　伊那特有の景観形成である三峰川両岸の斜面緑地が、住宅開発や日陰になる、土砂崩れの恐れがあるなどから伐採され、歯抜け状態が生じている。景観・生活・防災など総合的な保全計画を。特に植林を樹種指定して推進すべきでは。

三峰川斜面緑地

答　**市長**　この緑の回廊は景観・生態系から誇るべきもので、また防災上も重要。来年は土砂災害防止法も施行されるので、土砂災害特別警戒区域や県の保安林指定を受けるなど保全に努める。樹種には山ザクラもいいのでは。松枯れも進んでいる。まず地域住民の保全意識醸成に取り組む。

学校給食材の地産地消について

問　**若林敏明議員**　3・11東日本大震災以後、市民の食の安全意識は高まった。そのためには食材の地産地消を推進すべきではないか。

答　**市長**　食育からも、子どもも自ら泥まみれになり育てる体験が大事。地域のお年寄りの知恵も借りたい。

教育長　地産地消率は3割。栄養士が旬の食材を使うなど向上に努力しているが、肉・魚などは難しい。地元から安定供給できるか情報が少ないことが課題。

伊那消防署移転候補地「富士塚グラウンド北側」について

問　**柳川広美議員**　①30mのボーリングなどで地下活断層の調査を。②市街地を通るのに時間がかかるので、県道伊那駒ヶ岳線や国道361号の改良を。③高遠消防署の出動見直しは。救急車2台や人員充実を。

富士塚グラウンド北側周辺

答　**市長**　①必要があれば30mまでボーリング調査する。②この2路線は建物が密集していて改良困難。環状南線整備や市道日影沢線の改良などを行う。③高遠で出動が重なった場合は伊那消防署で応援している。昼間はドクターヘリも。

学童クラブの安全確保

問　**柳川広美議員**　美篶・高遠小学校は40人を超え、狭く危険であるのでは。

答　**教育次長**　美篶小学校は1日平均34人。増設については指導員や場所の確保など対応は困難。高遠小学校は1日平均27人。適地について検討したい。

魅力ある街づくりで定住促進を

問　**柳川広美議員**　①工業団地にメガソーラーを誘致しては。②エコタウン建設やエコな市営住宅建設は。③医療費18歳まで無料にしては。

答　**市長**　①現状では難しいが、視野に入れていく。②環境に配慮した市営住宅は必要。③その他の定住対策も含めて検討する。

建設部長　②大萱団地建替え時に検討する。

災害時における地域防災

問　**唐澤千明議員**　①土砂災害・全国防災訓練について、今回実施された訓練のねらいと課題は。②区長とは別に防災担当者を決め情報の徹底を図る考えは。③災害時の企業の行動について、行政側からお願いしていることや、基準を設けての監視・要請について考えは。

答　**市長**　①保育園児の避難訓練、各区での発災対応型訓練を実施。地域の特性にあった実践的な訓練が必要。②自主防災組織の人材育成を目的に、防災士の資格取得の助成を行っている。③48団体と協定を結び、災害時には応援要請する。また、山地災害、資機材リース協力に関する協定や建設業組合と連携し万一に備える。

区年度の変更について

問　**唐澤千明議員**　①区の会計年度に関するアンケート調査について、変更した方が良いとの回答の方が多く、変更に向けた取組みが必要と思うが考えは。②「行政年度にして協働のまちづくりを」と捉え、行政と年度を合わせることが不可欠と思うが考えは。

答　**市長**　①変更しても良いとの回答が過半数に達せず、当面は行政主導での年度変更は行わないこととした。②区長経験者、公民館関係者など、広く意見を聞く。近隣市町村からも現在の状況を聞いて判断したい。

市の「そば振興」について

問　**飯島進議員**　①高遠藩＝伊那市が「信州そば発祥の地」であると認め、宣言する考えはないか。②「高遠そば」のブランド化と長野県一の作付けと収量を誇る市が名実共にそばの産地として県内1位となるためのブランド化を図ってはどうか。③「高遠そば」を早期に地域団体商標に登録すべきと思うが考えは。

答　**市長**　①発祥の地については諸説あるが、そば切りの文化が伊那から始まっているのは歴史から見ても事実と考える。保科正之公を通じ全国に広がったと考えることができ、間違いではないのではないか。②入野谷そばや行者そばと合わせ、ブランド化と共に、そばの畑を見せるなど、見せる工夫や発信力を高めていく努力が必要。③ブランド育成や地域のやる気を示すことにつながり、登録を検討することは意義がある。JAとも連携する必要があるが、まずは母体作りや集まりが大切。その上で協力することはできる。

主要道路について

問　**唐澤稔議員**　①市道日影沢線は歩道もなく、学童の通行も危険。道路整備が必要と思うが考えは。②毛見橋について、右折車の渋滞の解消策は。③環状南線の整備計画は。

毛見橋

答　**市長**　①歩道がなく交通量も多い。消防署移転の話もあり、歩道設置と右折レーン設置の拡幅のための測量を来年度実施したい。②橋梁の拡幅は莫大な費用がかかり改良は難しい。朝夕の通勤時間帯の右折禁止規制について、地元、警察と調整、協議を進める。③大きな課題はJR飯田線との交差方法。平面的な交差が可能か関係機関と協議を進めている。財源は国庫補助金、合併特例債を利用し、一般財源は極力抑えたい。

小黒川パーキングエリア・スマートインターチェンジについて

問　**唐澤稔議員**　今後の計画について考えは。

答　**市長**　リニア中央新幹線開通など将来を見据えた場合、道路網整備や観光、企業誘致、災害対応など大きな役割を担う。職員一丸となって取り組む。

6月定例会一般質問の主な内容でした。

議会からのお知らせ

一般質問の開会時間を変更しました

6月定例会より、一般質問の開会時間を、これまでの10時から9時30分に繰り上げました。傍聴にお越しの際や議会中継をご覧になる際はご注意ください。また、これにより午前の質問者の数を原則3人に固定化し、1日当たりの質問者数もあらかじめ定めることができました。（質問者のおおよその順番につきましては、議会事務局までお問い合わせください。）

傍聴にお越しください

6月定例市議会は、129名の方が傍聴されました。

定例市議会は、どなたでも傍聴できますので、お気軽に傍聴にお越しください。

なお、団体で傍聴される場合は席に限りがありますので、事前に議会事務局までご連絡ください。

議会中継をご覧になるには

議会中継は、伊那ケーブルテレビ「伊那市チャンネル」でご覧いただけます。

デジタルC 511 チャンネル
アナログ 28 チャンネル

次回9月定例会の詳しい放送予定は、「市報いな」9月号をご覧ください。

請願・陳情について

請願・陳情書は、定例会開会前に開催される議会運営委員会前日までに提出されたものを、その定例会で審査します。

提出された請願・陳情は、定例会本会議で委員会へ付託し、審査報告の後、採決します。

次回9月定例会審査の受理期限は、8月20日（月）までです。（期限は、変更となる場合もあります。議会事務局へご確認のうえご提出ください。）